



第4回下肢救済・足病学会
関西地方会学術集会が

2018年10月6日(土)に

あべのハルカスにて

開催されます。

当院からは
診療支援部 野口 幸 副部長が

学術発表されますのでご紹介致します。

The 4th Regional Meeting of Japanese Society of Limb Salvage & Podiatric Medicine

第4回下肢救済・足病学会 関西地方会学術集会



情熱と愛をもって
足を治療する♡

会期：2018年10月6日（土曜日）

会場：あべのハルカス 25階

(5450-6016 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43)

会長：元村尚嗣

(大阪市立大学医学部形成外科 教授)

募集期間：

2018/6/18~2018/8/17

宛先：

kansai4jlsmp@med.osaka-cu.ac.jp

EVT と LDL-A 併用療法を行った CLI 合併透析患者の 1 例

医療法人 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾ リハビリテーション科²⁾ 透析センター³⁾
循環器内科⁴⁾

医療法人 育和会 育和会記念病院 循環器内科⁵⁾

野口 幸¹⁾ 大宮 優¹⁾ 川西 大¹⁾ 明道知巳²⁾ 山岡みゆき³⁾ 渡邊美智子³⁾ 吉岡伸夫³⁾
福井寛人⁴⁾ 齊藤精久⁴⁾ 高比康臣⁴⁾ 河原田修身⁵⁾

【症例】81 歳女性。2017 年 5 月に左第 2 趾に潰瘍が出現。下肢動脈造影を行い左浅大腿動脈(Lt-SFA)に有意狭窄と膝下領域に 3 枝完全閉塞を認めたので、下肢血流の改善目的で LDL-A を導入、足趾の潰瘍が改善した。しかし、10 月に第 2 趾の黒色化と潰瘍形成、軽度発赤と圧痛が出現したので、11 月に Lt-SFA と大腿膝窩動脈にステントを留置した。術後、CRP が 17.1mg/dL と上昇し抗生物質の投与で CRP 7.0mg/dL まで低下したが足趾・足底の感染が増悪したので第 2 趾基部切断と足底部を切開した。術後、創部の経過は良好で切開部から肉芽形成が見られ CRP は 1.0mg/dL まで低下した。しかし肉芽形成の遅延、SPP Dosal/Plantar 19/16mmHg と低値のため再度 LDL-A と EVT を行い SPP Dosal/Plantar 20/30mmHg と改善、肉芽形成も良好となり運動療法を追加した。

現在、創部の感染もなく SPP Dosal/Plantar 39/41mmHg まで改善し、自力歩行も可能となった。

【結語】透析患者の CLI は予後不良となるケースが多い。本症例も潰瘍による感染が併発し小切断に至る症例であったが、早期の治療介入と創傷管理をすることで良好な経過を辿ることができたと考えられた。